

大気汚染物質自主管理計画 01 年度実施状況

- 12 物質の排出量 99 年度比 37%減に -



環境省は、日本化学工業会など 74 団体における有害大気汚染物質に関する自主管理計画(3 ヵ年)の 2001 年度実施状況をまとめました。

ベンゼンやアクリロニトリルなど対象 12 物質の総排出量は、単純加算で基準年(99 年度)の約 3.8 万トンから 2001 年度は約 2.4 万トン(37%減)へ大幅に減少したそうです。

この削減量は、自主管理計画で設定している 2003 年度削減目標量 1.5 万トンの 95%に当たり、12 物質の合計では計画初年度で設定目標に近い水準を達成しているそうです。

今回の自主管理計画は、99 年度年間大気排出量を基準に、2003 年度の年間大気排出量を目標値としています。

対象物質はアクリロニトリル、アセトアルデヒド、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2 - ジクロロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,3- ブタジエン、ベンゼン、ホルムアルデヒド、二硫化三ニッケル、硫酸ニッケルノ 12 物質で、日本化学工業会をはじめ 74 団体で合計 36 の計画を策定しているそうです。

物質ごとの達成状況は、排出量の加算値で対象物質のうちアセトアルデヒド(達成率 109%)、ジクロロメタン(同 105%)、ホルムアルデヒド(同 126%)、二硫化三ニッケル(同 100%)、硫酸ニッケル(同 684%)、の 4 物質が初年度で目標値をクリアしたそうです。

また、個別団体ごとの実績では 25 団体で延べ 38 物質について計画初年度で目標を達成しているそうです。とくに日本自動車工業会のジクロロメタンおよび日本光学硝子工業会のテトラクロロエチレンは、使用全廃により排出量がゼロとなっているそうです。

資料:平成 14 年度 11 月 27 日付け 化学工業日報

分離分析課 豎山 由美

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 製品開発・品質管理に伴う化学分析 |
| 2 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 6 トータルサニテーション管理 |
| 3 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 7 微生物に関する試験・調査 |
| 4 労働衛生管理に伴う作業環境測定 | 8 依託試験・研究・開発 |

